

菅平小中学校保護者 様

上田市立菅平小中学校長 草間信一

保護者の皆様による学校評価アンケートの結果について

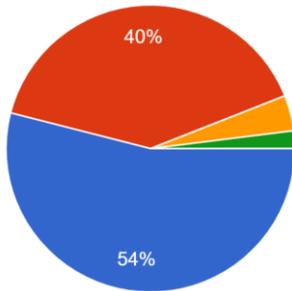
厳寒の候、保護者の皆様には益々ご健勝にてお過ごしのこととお喜び申し上げます。日頃から学校教育にご理解ご協力をいただきまして誠にありがとうございます。

さて、過日実施いたしました標記のアンケート結果をまとめましたので下記の通り報告させていただきます。

記

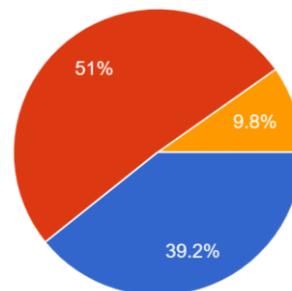
互いに認め合う人間関係

①お子さんは相手の良さに気づき認め合いながら様々な活動に取り組んでいる。



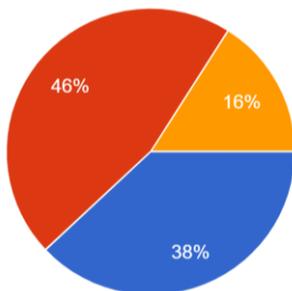
相手意識のある挨拶

②お子さんは相手を意識して、さわやかな挨拶ができる。



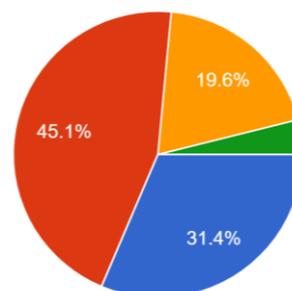
学習習慣の形成

③お子さんは学習のルールを守り、集中して授業に取り組んでいる。



授業改善

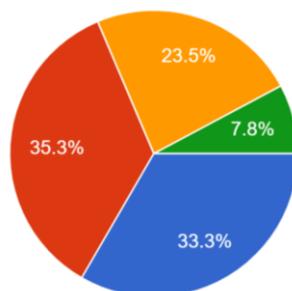
④お子さんは、教えられるだけでなく、自分から学び追究する授業を創っている。



- A よくあてはまる
- B ややあてはまる
- C あまりあてはまらない
- D まったくあてはまらない

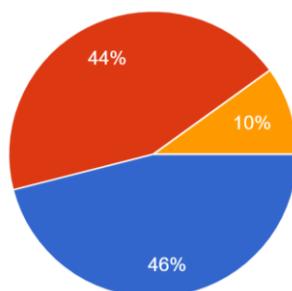
家庭学習の充実

⑤お子さんは家庭学習が習慣化し、学習内容の理解と定着に結びついている。



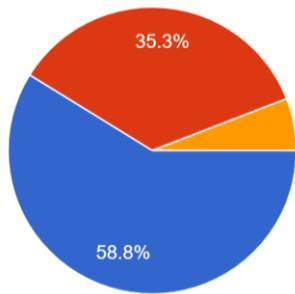
地域への愛着

⑥お子さんは、我がふるさと菅平での生活に喜びを感じている。



地域を知る

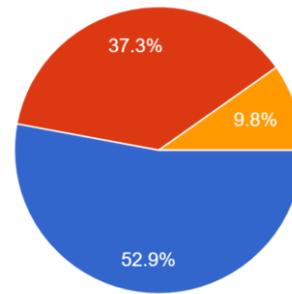
⑦お子さんは、総合的な学習やスキー活動を通して地域との交流をはかり、菅平ならではの本物体験・感動体験を味わっている。



- A よくあてはまる
- B ややあてはまる
- C あまりあてはまらない
- D まったくあてはまらない

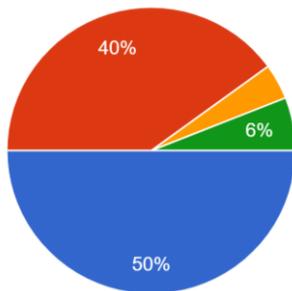
楽しい学校生活

⑧お子さんは、毎日学校へ行くのを楽しみにしている。



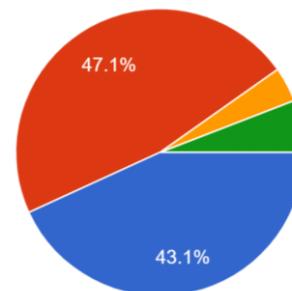
情報発信

⑨学校は、学校便り・学年通信等で、学校や子ども達の様子を適切に保護者や地域に伝えることができている。



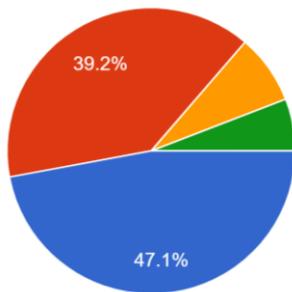
保護者との連携

⑩学校は、保護者の願いや要望に耳を傾け、誠実に応えることができている。



地域や菅平 CS との連携

⑪学校と地域が協働して、教育活動を創り上げることができている。



<アンケート結果の傾向>

前期に引き続き、多くの項目でA、B評価が9割を超える結果となりました。「互いに認め合う人間関係」、「相手意識のある挨拶」、「地域への愛着」、「地域を知る」、「楽しい学校生活」、「情報発信」、「保護者との連携」では、A、B評価が9割を上回りました。

特に、昨年度や前期のアンケートでA、B評価が7割程度であった「相手意識のある挨拶」は、今期改善の傾向がみられるようになりました。

一方で、「学習習慣の形成」、「授業改善」、「家庭学習の充実」については、前期と同様にC、D評価が他の結果と比較して目立つ結果となりました。

以上のことから、引き続き保護者の皆様や地域の方々との協力、連携をより一層充実させていきたいと思っております。また、特に来年度は、お子さんが学習を通じてわかる楽しさや追究する楽しさを味わい、充実感や達成感を得ながら主体的に授業、家庭学習に取り組めるような支援について重点をおいてまいります。

《お寄せいただいたご意見から》

- ◇先生が気分によって子供への態度が変わると聞いています。子供の頑張っていることをまず認めていただきたいし、否定ばかりして威圧的な態度を取るのはやめてほしいです。
- ◇毎朝学校前にて校長先生が交通安全の為朝早くから旗振りをしてくださったり先生方もアットホームですし人数が少ないせいもありますが高学年が1年生の面倒を見てくれたりと全校が友達と言った雰囲気がとてもありがたく思います。
- ◇部活動について、保護者の声が届かないまま勝手に決められていると思う。決まった代表者数人で話し合いをしても偏ってしまうのではないかと話し合いの人数を増やしたらまとまらないからなんて、あり得ない話です。そう思うのであれば、事前にアンケートや意見を聞いて準備してから話し合うとか、対策をしてから人数を増やして話し合うとか思わなかったのでしょうか？閉鎖された空間で決まったことにもかかわらず、子供や保護者のことを考えてますとかうまいこと言いくるめるだけの説明会には毎回うんざりします。保護者会長の3人すら呼べない会議って、どういうことでしょうか？
- ◇中学生は自由進度学習が教科学習で行われ研究されているようですが、元々理解力のある生徒にとっては最適な学習形態に感じますが、判断力思考力の乏しい生徒にとっては、よくわからないまま単元を終えることになっているように思います。少人数ですので指導に手が入りやすいので、その現状を理解していただいて指導して欲しいと感じています。評価もその授業で知識理解、思考判断表現の評価基準は自由進度学習において、きちんとされているのでしょうか？自由進度学習ではない単元との兼合いはどうなっているのでしょうか？本人任せ、の授業に陥り、テストの点数だけで評価されることになっていないか心配です。評定がいくつ、ではなく、どの子にも、本人の学びが充実した学びになっているのか疑問です。自由進度学習を進めるならば個々の学びの内容を細かく分かったうえで行っていただきたいです。
- ◇小学校の授業参観日が全中にかぶっているのは、もう少し配慮できないのかなと思います。中学校もいつも全中前合宿があったりで日にちがわるいなあとと思いますが、中学生はとにかく小学生は見たかったです。これからはぜひ重ならないようにご検討頂きたいです。
- ◇担任の先生にお子さんが産まれた時に、クラスみんなでサプライズのお祝いをしたそうです。教頭先生が授業時間をそのための準備の時間にしてくれたと言っていました。柔軟な対応が有難いし、担任の先生のお子さんの誕生をみんなで祝福する雰囲気が素敵だなと思いました。
- ◇宿題が少ない。テストを持ちかえってこないせいなのか、宿題が少ないせいなのか、学力や授業の進みが家庭で見えにくい気がする。
- ◇すずらん祭の希望者ステージも音楽会と同じ日にできたらもっと色々な方に見てもらえて、子供たちも嬉しいと思うので是非ご検討頂けたらと思います。あと、部活の地域移行に関わる話は見えないことが多く決めていかなければならない事も多いと思いますが、完全に決まってしまう前に色々な保護者の意見も聞いて頂けたらと思います。よろしく願いいたします。
- ◇色々な出来事が積み重なってきた中で、毎日学校に通い続けている子どもの姿をととても尊敬しています。体に不調が出ないこと＝問題がない、ということではないと思っています。今後も、子どもの気持ちや尊厳を尊重しながら様子を見守っていきたいと考えております。もし何かありました際には、先生方にご相談させていただくことがあるかもしれません。その際はどうぞよろしくお願いいたします。
- ◇音楽会の後に、すずらん祭の発表会があれば、続けて見てくれる人も増えると思うので検討して欲しいです。

<学校から>

たくさんのご意見をいただきました。前期同様に学校の方針のこと、人間関係のこと、先生へのお願い、個別の配慮のお願い、スキーについて等のご意見がありました。すべてのご意見を紹介することはできません。載せてしまうことにより児童生徒、保護者の皆様、教職員にとってマイナスになる恐れがあるものについては、重ねて申し上げますが学校内で共有させていただき、この紙面には載せません。

○スキー活動、および部活動の地域展開についてのご意見をいただきました。特に地域展開に向けて、保護者会の意向や要望について、しっかりと取り入れてほしいというご意見をいただいています。国、県、市の方針で部活動の地域展開を進めていく中で、ルールに則って進めていくことがこれまでの補助を維持していくために必要になります。保護者負担が大きくなることが予想される中、令和8年度末に完全地域展開とするにはどうしても準備期間が必要です。そのため、4月よりスキークラブのみなさんや各種団体長様等と今後についての話し合いを進めてきました。保護者代表の皆様には3月に引継ぎを兼ねて今年度の課題と来年度に向けての懇談の機会をとります。なお、令和8年度については、地域スキークラブと保護者会で細かな相談などをしていくこととなります。学校が提案したり何かを決めたりということはありません。時期がきたら、地域と保護者に丸投げすることだけは避けたかったので、今年度を移行期間として進めさせていただきました。市や県とたくさん交渉してきましたが、情報が伝わらなかつたり十分にご意見を反映することができなかつたりということについては申し訳ありませんでした。

○今年度、複数の学年で取り組んだ単元内自由進度学習について、ご意見をいただきました。最大の目的は、子どもたちの「自ら学ぶ力」を引き出すことです。一人一人の学び方や得意なことを見取り、それぞれに合った学習材や指導方法を日常の授業改善につなげていくことをねらいとして、年間を通してではなく単元を限定して実施しました。この取り組みを通して、具体的な作業を通して理解が深まる子、相談しながら考えることで表現が広がる子、興味関心をもつ導入が学習意欲につながる子など、一人一人の学び方の特徴を把握することができ、次の授業づくりに生かしています。また、自由進度学習は本人任せにするものではなく、チェックテストや個別の見取り、声がけを通して理解状況を確認しながら進めています。自分で納得するまで準備をしてから確認に臨む姿や、自分で「まだ理解が十分ではない」と判断し、他にも用意されている学習資料の中から選んで学び直す姿も見られています。学習の進み方が異なる中でも、教師が一人一人の理解を確認しながら支援を行い、どの子も安心して学び続けられるよう取り組んでまいります。

○先生の指導についてのご指摘をいただいています。子どもたちに対して、もっと力になりたいと願っている中での至らなさについては、研修を重ねるだけで終わらないように、職員同士の意識をお互いに高めていくような日常的に学び合う機会をとりたいと考えています。

○すずらん祭については、中学校生徒会が企画や運営を主となって担当しています。希望者ステージの時間帯など、来年度になってから検討することとなります。